



出張報告書

令和6年6月19日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 蒼 風 会

代表者氏名 林 久博

出張者氏名 北村保子、丸岡鉄也、津田加寿男、林 久博、鷺田真緒

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和6年5月22日から令和6年5月23日まで

2 結果の概要

用務先 香川県 高松市	報告事項（この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付） ○こども未来館について ・事業計画詳細、議会意見聴取や市民要望の取り入れ方、財源内容、市民評価	
広島県 福山市	○観光振興基本戦略について ・観光戦略における財政規模、関連基金、基本戦略における瀬の浦の位置づけ	
添付書類 ☒ 視察報告書 ☐ ☐ ☐	備 考	

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり（内容は裏面に記載）

旅 費 の 精 算

☒ 精算額は、令和6年5月1日届け出た額（171,350円）と同一額である。

☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。（精算額は裏面に記載）

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

視察報告書

5月22日から23日の2日間、香川県高松市のたかまつミライエと広島県福山市の鞆の浦の観光の取り組みについての視察に臨みました。下記報告事項とさせていただきます。

日時 2024年5月22日
視察先 たかまつミライエ 高松市こども未来館（香川県高松市）
説明者 こども未来部、人権・男女参画推進課、教育局
出張者 北村 保子、丸岡 鉄也、津田 加寿男、林 久博、鷺田 真緒
報告者 鷺田 真緒

視察内容

たかまつミライエは、こども未来館、平和記念館、夢みらい図書館、男女参画センターの4つの施設が入った複合施設です。こども未来館は6階建てのうち4階までを占め、①子ども・子育て支援事業 ②学習体験事業 ③わくわく体験事業の3つの事業体系で展開されています。事業の中に、みんなのひろば・プレイルームやプラネタリウム、科学・昆虫標本展示室の運営などが含まれます。4つの施設はそれぞれの所管課にわかれ、それぞれの所管課が連携することで、子育て世代や子ども向けの施設ではありますが、子どもから大人まで幅広い年代の方々が利用しやすい施設となっています。3階のみんなのひろば・プレイルームには紙おむつの回収機（即座にラップでくるまれ、においが漏れないもの）が設置されています。安全面への配慮から、時間単位で利用人数は制限されますが、視察時はかなりゆったりと空間を利用者が利用されているように見えました。

また、男女共同参画センターには授乳室や託児所、こどものミルク用のお湯の提供や防災啓発に関する備蓄職などの展示、また男女どちらもの就活用のスーツのレンタルの取組みなどを視察しました。平和記念館では主に広島・高松空襲（7月3日深夜から4日未明にかけてB29部隊が姫路・徳島・高知・高松の順に攻撃を加えたもの）の様子が展示されています。また、防空頭巾や靴など実際に使用されていたものなどの展示があり、入場無料で平和映画上映会も月に何度か開催されるとのことです。

日時 2024年5月23日
視察先 鞆の浦の観光について（広島県福山市）
説明者 福山市 経済環境局政策調整官 福山市議会事務局 鞆の浦しお待ちガイド
視察内容

福山市鞆支所にて福山市の観光の取組、また福山市で来年開催予定の世界バラ会議について

の座学を受けたのち、鞆の浦しお待ちガイドの方の案内で鞆の浦を散策しました。座学では福山市の令和6年度の重点政策「戦略的な観光振興」を学びました。①新たな観光推進体制の整備 ②インバウンド誘客の推進 ③観光客受入環境の整備 ④ナイトタイムエコノミーの推進 ⑤ガーデンツーリズムの推進 この5点を軸に取り組まれるとのこと。④のナイトタイムエコノミーの推進は福山城キャスルシティ（城泊）等の実施が該当します。平成30年度は観光プロモーション、インバウンド推進、令和2年度は新型コロナ対策（宿泊施設衛生対策、貸切バス運行支援、観光プレミアムクーポン発行など）など行われていました。令和5年度には旧国民宿舎の解体工事も始められこちらは令和6年度も継続事業です。

ガイドの方に案内していただき、鞆の浦の映画のロケ地となった場所も含めて市内を一周しました。福山市重要文化財の鞆の津の商家や県史跡・重要文化財の太田家住宅・太田家住宅朝宗亭鞆七卿落遺跡などが街中に溶け込むように存在しており、観光地として目的地となる場所がとて多いと感じました。

視察を通して

多岐にわたる行政複合施設の施設整備にあたり、どのように庁内横断的に構想が練られ、事業計画がすすめられたのかを学びました。施設の老朽化や同様の機能を持つ公共施設が点在していると、新設する施設にはあり方が求められることから、市民や有識者等で構成される審議会を設置して議論を重ねること、市民ニーズをはかり、また適宜適切な説明に努めるとともに設計段階から関係団体の要望を可能な限り取り入れるなどの合意形成に細心の注意を払われたとのこと。たかまつミライエは整備事業費、建設工事及びプラネタリウム含む展示制作あわせて約56億円（財源は適当な国庫補助がなかったため、一般財源と合併特例債を充当）

総事業費約56億円（旧施設解体工事費等約6.5億円含む）うち起債 約51億円

福山市の取組では、福山城での宿泊（1泊100万円を超えるラグジュアリーツーリズム）ではインバウンドの誘客でも富裕層をターゲットにしており、本市でも尼崎城や田能遺跡を活用すれば富裕層の旅行客に向けて尼崎でしか体験できないものを提供できるのではないかと考えます。また、映画のロケ地にもなり、国内外問わず観光客が訪れる場所ながら道路の整備状況がやや不十分のように感じました。一箇所にとまっておりコンパクトに見てまわれる半面、昔ながらの道で歩行者が安心して歩ける空間ではない、ウォークアブルな空間ではないと感じます。尼崎城に続く道路の整備時に活かすポイントと感じます。